

発行所
 八尾市消防団
 発行責任者
 八尾市消防団長
 小角道男
 八尾市高美町5-3-4
 TEL(072)992-0119
 FAX(072)992-7722



中河内地区支部 消防総合訓練

8月10日(日)、市立八尾中学校において、中河内地区支部消防総合訓練が開催され、八尾市消防団は、「規律訓練」を行いました。
 龍華・久宝寺・八尾・西郡・大正・曙川の各分団より選ばれた31名により、6月3日から本番に向け、約2カ月間の訓練をスタートさせました。

私は小隊長という大役の中、号令を覚え、大きな声を出せるように、また選手達は全員の気持ち揃うように、毎日いろんな意見を出し合いました。(時には暑さや疲れによるイラダチもありながら・・・)

警防課の皆さんによる熱い指導のもと、消防団長を始め団幹部、各分団の方々からの温かい激励を頂き、選手全員一丸となって、良い訓練ができたと思います。

ありがとうございます。
 選手全員が、今回の訓練で身につけたものを今後の消防団活動に各地域で役に立ててもらえるものと信じております。

龍華分団長 岸
 (6・7面に関連記事)





任命式

4月1日(火)、消防団員の任命式が挙行され、15名の新団員が誕生しました。

新団員の抱負を伺いました。

- ① 職業
- ② 趣味
- ③ 抱負



上田 真二 (西郡)
 ① 会社員
 ② 釣り
 ③ 消防団として初めての事なので、分からない事ばかりですが、頑張りたいと思います。



山崎 聡 (龍華)
 ① 自営業
 ② スポーツ
 ③ 一日でも早く消防団員として一人前になれる様、日々頑張りたいと思います。



森口 正明 (大正)
 ① 会社役員
 ② ゴルフ
 ③ 今年度から消防団に任命され、地域貢献、地域防災の重要性を考へるようになり、先輩団員の指導のもと、しっかりと習得していきたいと思ひます。



竹田 豊茂 (大正)
 ① 造園業
 ② ゴルフ
 ③ 消防団員としての伝統と誇りを汚さないよう訓練と経験を積み重ね、一日でも早く一人前になるよう努めます。



今仲 幹夫 (大正)
 ① 会社員
 ② ボウリング
 ③ 地域を守る消防団員として、諸先輩方に指導を頂きながら頑張っていきたいです。又分団唯一の二十代として力を発揮したいです。心の火は消さないように。



北林 文善 (曙川)
 ① 自営業(印刷関係)
 ② ドライブ
 ③ 我が町が安心して暮らせるより良い町になる様に微力ながらお手伝いさせて頂きたいと思ひます。



米田 政樹 (高安)
 ① 板金加工業
 ② 魚釣り
 ③ 消防団活動を通じて、火事のない、安全な町になるよう、地域の人たちと協力して、頑張りたいと思ひます。



山中 篤 (高安)
 ① 建設業
 ② ゴルフ
 ③ 消防団を通じ、地域に貢献し、地域の人々のお役に立てるよう頑張ります。



真砂 弘 (高安)
 ① トラック運転手
 ② バイク、日曜大工
 ③ 消防団員に任命して頂いた事を使命と受け止め、先輩団員の御指導と連携を大切に活動、訓練に挑戦します。



阪井 俊樹 (高安)
 ① 自営業
 ② ゴルフ
 ③ 優秀な、先輩方を見習い一日も早く立派な消防団員になりたいと思ひます。



寺西 幸男 (高安)
 ① サービス業
 ② 映画鑑賞
 ③ 消防団員としての自覚と責任感を持って、先輩団員の方々に学び、頑張っていきたいと思ひます。



西田 昌彦 (山本)
 ① 米穀小売業
 ② ゴルフ
 ③ 地域の為に少しでも役に立てればと思ひ、入団させて頂きました。先輩方のご指導のもと、貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。



岸田 弥幸 (山本)
 ① 自営業
 ② 料理
 ③ 少しでも、生まれ育った町に貢献できるように、頑張っていきたいと思ひますので、宜しくお願ひ致します。



岸田 充弘 (山本)
 ① 会社員
 ② ゴルフ
 ③ 地域社会に少しでも貢献できるように、精一杯頑張りたいと思ひます。

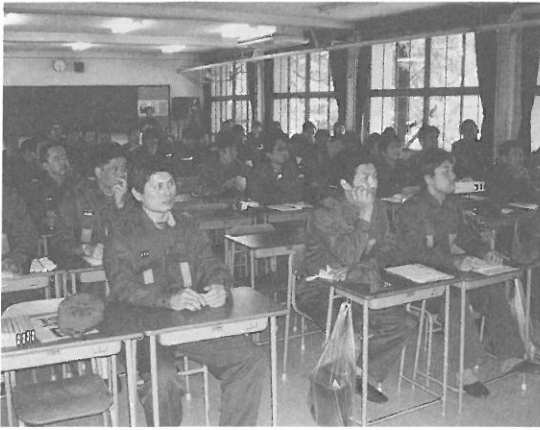


西尾 和哉 (山本)
 ① 会社員
 ② 野球・マラソン
 ③ 少しでも地域に役立てる様に頑張っていきたいと思ひます。

初任科・幹部教養講習会

5月11日(日)大阪府立消防学校において、本年度中河内地区初任科・幹部教養講習会が行われました。

初任科においては、先ず研修室において、消防団組織の成立ちと現状等の講義を受け、続けてAEDの使い方を実物を用いてご教授頂きました。この講義を通じて、もし事故等の現場に出会わせた時には、「誰かが何とかするだろう」ではなく、「自分には何が出来るのだろうか」という気持ちを一層強く持つことが大切だと再認識させて頂きました。



午後からは場所をグラウンドに移して、訓練礼式の実習、ポンプの取扱い方の練習等を行いました。

日頃ならたらと過ごしている私にとっては訓練礼式等、各訓練が新鮮かつ身の引締まる思いでした。

本日の講習を通じて、消防関係の方々が今まで何も知らずに過ごしていた私達(初任科)を含めた人達の為に、大変な努力をされている事を改めて知り、その一片にでも参加させて頂ける事に、喜びと責任を実感した一日でした。

この経験を今後の活動に役立てていきたいと思えます。

龍華分団 山崎

分団紹介

南高安分団は八尾市南東部に位置し、北部、中部、南部の3分隊により構成されており、車両はポンプ車3台、搬送車2台、小型可搬ポンプ5台が配備されておりあります。

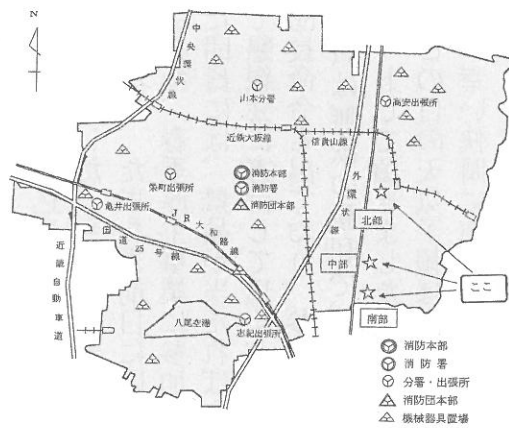
団員については45名在籍しており、大所帯であるため職業も様々です。当分団には地元で事業を営まれている団員はもちろん、民間会社等に勤めるサラリーマンの団員も在籍しており、毎月1日、16日の訓練日には時間が間に合わず、仕事着のまま訓練に駆け付けける場合もあります。

訓練内容は、分団長を筆頭に毎月班長会議を開催し計画されますが、当分団は高安山に隣接しているため、林野火災を想定した訓練を計画する時もあります。訓練は経験年数の浅い団員を主に計画され、全団員が色々な状況に対応できるように心がけて取り組んでおり、訓練の内容によつては、地域の皆様にも参加して頂く場合もあります。

また、地域活動の一環として、地元の夏祭においては負傷者の

搬送係、市民スポーツ祭では警備係を担当する等、地域のイベントにも積極的に参加しております。

当分団はそのようなイベントに参加することにより、地域住人の皆様と疎通を図り、昨今起きている大規模災害が発生しても一丸となつて対応できるように、日々の防災活動に取り組んでいます。



南高安分団 川崎

分 団 活 動 報 告

新車両配備される

平成19年度分として、12月5日に、山本分団上尾分隊、大正分団木の本分隊、西部分団の積載車、3月25日に南高安分団中部分隊の資材搬送車が新車両として配備されました。

これらの新車両は、各種性能も向上し、様々な点で改良されており、使い勝手のよい車両となっております。

新車両の配備を受けて、各分団とも、神社でお祓いを受けた



山本分団上尾分隊
積載車



西部分団
積載車



大正分団木の本分隊
積載車

り、町会の人々にお披露目したり、またささやかな宴を催したりと、新車両を歓迎していました。

また、各分団とも、新車両への更新を機に、これまで以上に、防火防災活動に力を入れるとともに、消防団活動に対する、各団員の意識と自覚も高まったことと思われます。

これらの新車両は、各種訓練や防火、防災等の広報活動にのみ使用され、本来の用途である火災現場での消火活動等には、使用される機会のないことを祈ります。

山本分団 岩崎



南高安分団中部分隊
資材搬送車

ファミリー懇親会

6月8日の日曜日に、消防団活動に理解と協力をしてもらっている、家族並びに関係者に、感謝の意味を込めて、懇親会を開催しました。今回は準備に余念がなく、たまたま前日に開催された、春季厚生事業に参加した団員には、景品が当たれば全て懇親会に寄付して頂くと、分団長命令も出ており、参加した団員は無欲の勝利で、景品をゲットして頂きました。

この日の天気予報は雨でしたが、幸い快晴に恵まれ、筒先をおたまに持ち替えて、腕を振るいました。青竹を使つての流しそうめん、子供達も大喜びでした。



大正分団 梅田

普通救命講習

6月22日(日)に志紀分団が志紀のコミュニティセンターで、7月6日(日)に南高安分団が地元の集會場で、救急隊員指導のもと救命講習を受講しました。非常に多くの団員が参加しました。

近頃、新聞やテレビで人命救助の内容の話題が取り上げられる事も多く、皆さんの関心も高いのだと思います。

私達は、映像での講義、そして実際に人形を使つての心肺蘇生法、AED(自動体外式除細動器)の使用法を学びました。

今回特に興味が高かったのがAEDの使用です。参加者全員が真剣に取り扱いを体験しました。

音声ガイドにより、一度受講していれば迷う事なく対処出来ると思います。

今回とても印象に残った事は「救命のリレー」という言葉。

いつ、自分がそのような場面に遭遇するか分かりません。

その時、その場に居合わせた人達が協力し合い、素早く対処

する事で助けられる確率も高くなるという事。

今回受講した事で得た知識、技術は、人の命を救うという責任感を与えてくれるものだと思います。

また、心肺蘇生法は、年々手順が見直されており、実際に身に付けた技術を使うような事が無いほうが良いものですが、いざと言う時のために定期的に講習を受ける事でより自信を付ける事が出来るだろうと思います。



志紀分団 山本
南高安分団 川崎

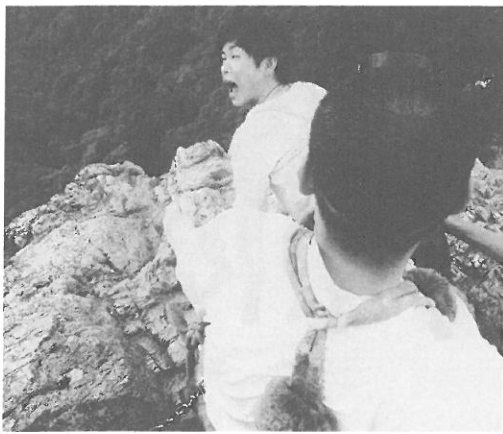
八尾分団 大峰山登山修行

9月15日敬老の日、分団員9名にて世界遺産に登録された修験道山、大峰山へ修行のため登山をしました。大峰山は別名山上ヶ岳と呼ばれ現在日本で唯一女人禁制が守られている山です。現在は道が整備され八尾からは車で約2時間で登山基地の洞川に着きます。

午前8時洞川に到着。竜泉寺の水温8度の池にて水業を行い8時半より大嶺大橋の女人結界門をくぐり、片道約10kmの登山を開始しました。急な山道を登り続け「お助け水」の休憩場、三箇所の茶屋を通ると、第一の修行の場「鐘掛け岩」に到着。垂直の岩を1歩1歩、修験者の指示のもと登ります。足のかき方を間違えると、上にも下にも行けなくなります。今風に言うところフリークライミングという感じですね。その後、鎖を頼りに500m登ると大峰山最大の修行場「西の覗き」に到着。崖の上から修行団員の体にロープを巻きつけ、同行の団員2人で足を持ち上半身を崖の下に乗り出させ

「親の言う事を聞くか」と掛け声が飛ぶと団員が支えたロープと足を緩めます。修行団員の体は振るえ、恐怖のため目をつぶります。これで覗きの修行が終わり、少し登ると山上寺に登山開始より3時間にて到着。お寺で団員が個々のお願ひ事をし、その後昼食をとり下山、洞川温泉の旅館にて夕食をとり帰宅しました。

男子として生まれると大峰山修行をしなければならぬ、と言う風習がありました。現在ではかなり薄れ、最近入団した団員の中には行った事のない者が多く、いい経験をしました。今回の登山を通じて、分団員の絆が更に深まりました。



八尾分団 今井

大阪府地域防災 総合演習

5月15日(木) 大和川右岸河川敷にて大阪府地域防災総合演習が行われました。

これは、災害時に防災関係機関が災害応急復旧対策を、迅速かつ円滑に実施出来るように防災体制の強化を図ると共に関係者の技術の習熟並びに府民の防災意識を高めるために行うものです。

当日、演習に参加した機関は46機関で約100名の人達です。

我が八尾市消防団は高安分団と山本分団が参加しました。



内容は土のう作りをし、釜段工を作る作業を演習しました。

このような、作業を地道にしておくことによつて、災害時の被害を最小限に食い止める事が出来たら、この訓練の意義も出ると思います。

高安分団 谷口

「規律訓練」を 振り返って

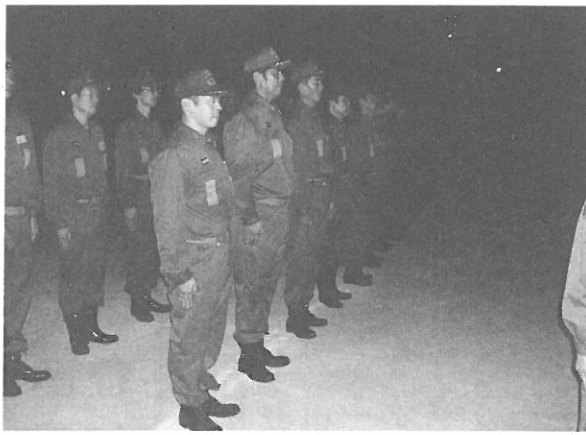
8月10日(日) 市立八尾中学校で開かれた中河内地区支部消防総合訓練には、八尾・東大阪・柏原の三市消防団が参加しました。一番手は八尾市消防団による「規律訓練」二番手は東大阪消防団による「小型ポンプ操作」最後は柏原市消防団の「ポンプ車操作」の順に行われました。

今回は、今までとは違い6つ

の分団が協力し規律訓練をする事になりました。5月31日の決起集会から始まり、6月から8月にかけて延べ20日間の訓練を行いました。

訓練の内容は、先ず円陣を組んで一致団結した後会場入りし、小隊編成を行い三分隊に分かれての「停止間による各個訓練」そして、小隊に戻り訓練場を様々な隊形で一周する「行進間による小隊訓練」というものでした。

当初は、「やらされている」という気持ちでしたが、次第に訓練を重ねるうちに「やってやる」、そして訓練最後の日には「本番は成功させてやる」とい



う気持ちに変わりました。

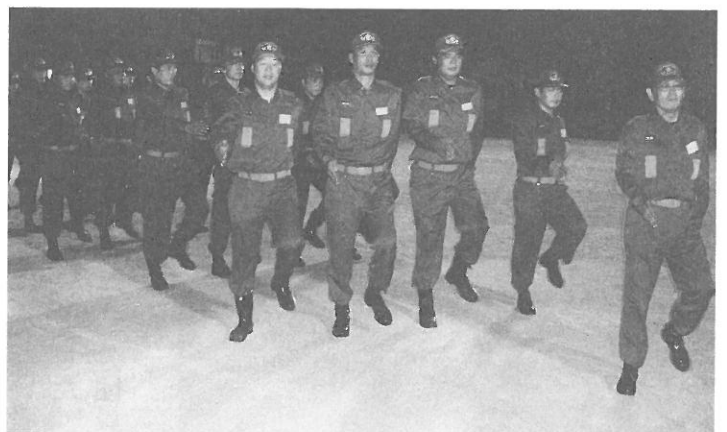
本番当日、円陣を組み、皆で声をかけた時「絶対に成功させるぞ」という気持ちになりました。

訓練は見事に成功し、盛大な拍手を頂き思わず感動しました。

最後になりましたが、支えてくださった本部の方々、団長及び副団長、方面隊長そして各分団長、団員の皆様に感謝致します。

本当にありがとうございます。

龍華分団 中家



平成20年度春季厚生事業

平成20年度春季厚生事業として6月7日(土)ヤマトカントリークラブにおいて、八消会、ゴルフコンペが執り行われました。

すがすがしい天候の中、参加者それぞれが笑顔に満ちあふれ、楽しそうにお互いの親睦をはかっておられる様子が見うけられました。
皆様お疲れ様でした。成績は以下の通りです。

- 優勝 山本分団 朝田 益史
- 二位 山本分団 藤井 保士
- B B賞 山本分団 林 晋弘

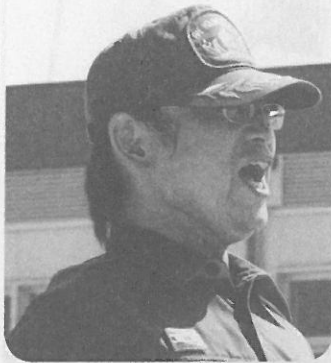


南高安分団 辻野

第一分隊長と言う大役を任せられたからには、皆を、引張って行くんだと言う思いで一杯でした。しかし、気合を入れた声を出そうとしても、実際仕事の疲れ、体調の悪い時も、ありませんでした。でも、自分が居なければ皆に迷惑をかけると思い、休む訳にはいきませんでした。訓練を重ねるうちに、一つ気付きました。「皆自分の声に合わせて、しっかりと聞いてくれてるんじゃないか」と、自分一人でやってるんじゃないかと、精一杯声を出して頑張ろうと決めました。

本番当日、訓練の成果を出し切りました。その甲斐あって、周りの方々から、お褒めの言葉を頂戴しました。それぞれの仕事や生活がある中で、一つの事を成功させる事の難しさを実感しました。

皆様本当にありがとうございます。



第一分隊長 龍華分団 廣岡

前回は隊員で、今回は二度目の出場でもあり、第二分隊長を引き受けさせて頂きました。どんな事をしていけばいいかわからないまま、訓練が始まり、日が進むうちにこんな感じかなという程度に全体が見えてきました。

しかし、自分が基準に対してどの位置で、どう動けばいいのか、なかなかつかめず、前後左右、また隊全体に混乱を作っていないかと思う事がしばしば。さらに訓練が進み、本部、諸先輩、応援の方々からのアドバイスを頂き、隊員と一緒に一体感、距離感を作って行けるようになったと思います。本番では思った以上の訓練が出来、何とか大役を務めさせて頂けたのも隊員の暑さに負けない頑張りのお陰だと感謝しております。

皆様、お疲れ様でした。



第二分隊長 八尾分団 小川

第三分隊長をさせて頂き、5月末の決起集会から約2カ月半の間、暑さに耐え緊張の中、大変充実した日々が続き、あつという間に終わってしまったというのが実感です。

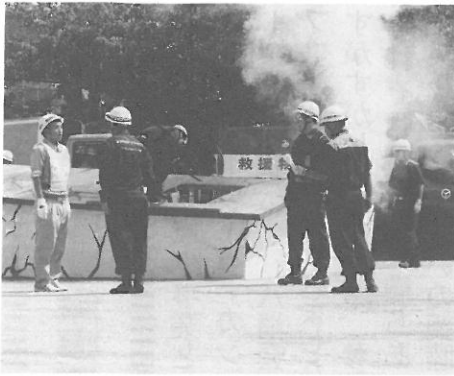
その中で、他の分団員の皆さんとの出会い、そして交流を深められた事が私にとって一番大きな意味がありました。かつて無かった方面隊が違う6分団が、一つの目標に向かって、協力、強調し合いながら一丸となり、達成できた事は、警防課の皆さんや選手以外の団員の皆さんの支えが無ければ絶対に出来なかった事だと思えます。「本当にありがとうございます。」これからもこの出会いを大切に、規律訓練で学んだ事を活かして日々精進していきたいと思えます。



第三分隊長 大正分団 木田

八尾市防災訓練

9月14日(日)に長池小学校にて平成20年度の八尾市防災訓練が実施されました。朝9時に、近隣地区6箇所に集合した住民約580名を長池小学校へ避難誘導する事から始まりました。全員集合の後、市長の挨拶より防災訓練が開会されました。会場では、いろいろな体験訓練が出来るブースが設置されており、非常持ち出し袋の無料配布、給水車による冷水の試飲、赤十字奉仕団婦人部によるアルファ化米の炊き出し試食が行われており、多くの住民が八尾の水道水、非常食の意外なおいしさにびっくりされていました。



はしご車乗車体験では多くの子供達が列をなして楽しんでおり、また多くの方が地震体験車での地震を体感されていました。あの阪神淡路大震災での記憶を思い出し、地震に対する恐怖と万が一に對する備えを再認識されていました。

最後に、地震による建物倒壊、火災発生、負傷者救出を見立てた訓練が実施されました。市、消防本部、消防団、市民全員参加による訓練となっており、皆さんが真剣な対応で参加されておりました。

地震等の災害はいつ起こるか分からないもの、発生時には市、警察、消防本部、消防団、市民が一丸となって少しでも被害を最小限にしようという心構えを再認識する一日となりました。

八尾分団 岩崎

市政60周年第31回 河内音頭まつり

8月30日(土)、八尾市役所前にて夏の祭典、河内音頭まつりのオープニングセレモニーが、曙川南中学校吹奏楽部と消防音楽隊のコラボレーションにて始まり、市長のあいさつを皮切りに64団体200名の参加者達が、夏の疲れを吹き飛ばしながら大パレードがスタートしました。

天候は、曇空の中、涼しく沿道の人々も続々と増えてきました。

沿道警備では、分団長(方面隊長1名含む)10名が、3ポイントに分かれて、交代制で行われ、その他にも自治会の16町会役員様達と実施されました。

日頃の消防団活動とは違い地域の皆様と一緒に楽しく河内音頭のふれあいが出来たと思います。



曙川分団 織田

◎ 広報部員名簿 ◎

委員長	志紀分団	西川 知広
副委員長	久宝寺分団	村上 勇
委員	大正分団	南野 直紀
	久宝寺分団	正協 勝博
	西郡分団	吉田 美紀
	八尾分団	中川 良和
	龍華分団	川崎 孝純
	大正分団	中山 一真
	曙川分団	梅田 洋聡
	南高安分団	高田 光陽
	高安分団	辻野 茂樹
	山本分団	川崎 義正
	志紀分団	寺川 典克
		谷口 年秀
		松田 充弘
		岩崎 利雄
		竹下 健一
		山本 剛久

編集後記

皆様のご協力を頂き、第22号を発売する事が出来、大変感謝しております。部員一同次号もより良い誌面を作り上げて行きたいと思っております。よろしくお願致します。

西川